

平成22年度 前期7月に行われた生徒による授業評価の集計結果は以下の通りです。

1. 設問内容は以下の通りでした。

1	先生の授業は、スムーズに行われていますか。
2	あなたは、授業を通して知識を得たり経験をしたりして、満足していますか。
3	先生の授業の進度(すすみ具合)は、ちょうどよいですか。
4	あなたが、参加しやすい授業でしたか。
5	先生は、授業中わかりやすく説明してくれていましたか。
6	先生は、生徒のことを考えて授業をしてくれていますか。
7	あなたは、授業に集中していますか。
8	あなたは、授業に前向きですか。
9	あなたは、学校の授業時間の他に、この授業の学習をしていますか。

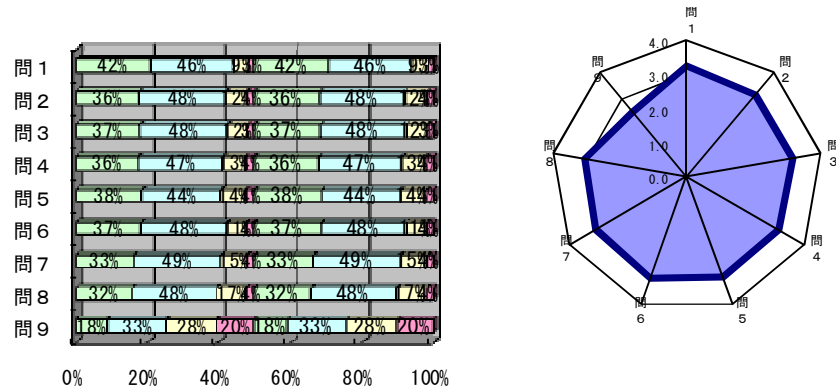
2. 設問に対する生徒の解答の選択肢は以下の4種でした。

とても当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	ほとんど当てはまらない
4点	3点	2点	1点

3. 各教科の結果は以下の通りです。

各教科とも、左のグラフは各設問に対する回答率、右のレーダーチャートは、上記の数値で計算した各設問の回答得点平均です。
 グラフの下段に各教科の分析結果を掲載しています。その分析結果に基づいて今後授業改善に取り組みます。

国語



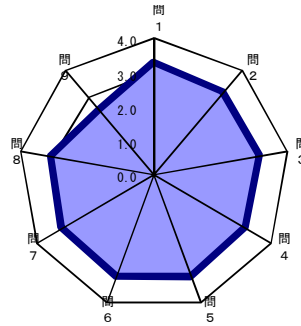
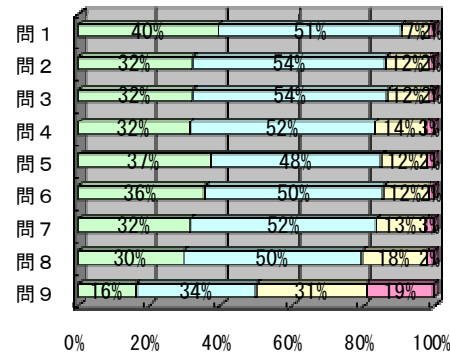
1. 「授業評価」結果の分析

- ・設問9を除いて、国語科の授業に対して生徒たちは概ね満足しているという評価になっている。
- ・問8と9との関連から、授業への意欲がある生徒たちの約半数が家に帰っても持続しないという結果が出ている。
- ・逆に2割程度の生徒は授業内容や進度に満足してはいない。それを改善要求と見ることもできる。

2. 授業改善

- ・家庭での学習時間が少ないと考えている生徒の割合が他の項目に比べて半数近くにのぼっている。
- 生徒たちの自発的な家庭学習を促すために、通常の課題に加え、9月の最終週に国語科全員がそれぞれの担当科目で家庭での学習課題を作成・配布し、家庭学習の強化を図った。

地理歴史



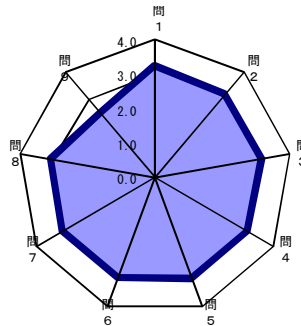
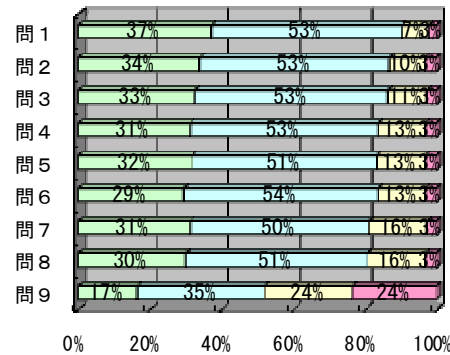
1. 「授業評価」結果の分析

授業については、大部分の生徒の期待にほぼ応えている。しかし、授業に前向きでない生徒も2割存在する。授業以外の学習については、まだまだ生徒の取り組みは不十分であるが、昨年度に比べると大幅に改善されている。

2. 授業改善

授業への取り組みが不十分な生徒への個別指導に努める。
授業時間以外において、積極的に学習させるために、指導方法を工夫する。

公民



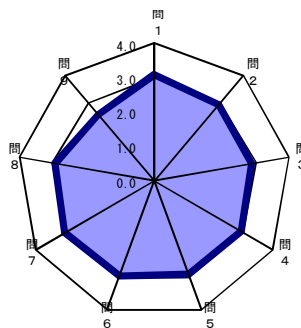
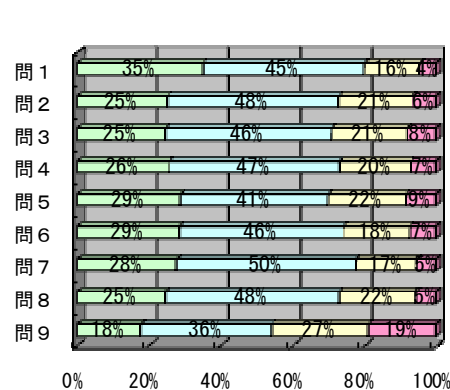
1. 「授業評価」結果の分析

授業については、ほぼ生徒の期待に応えられている。ただし、授業に消極的な生徒も2割近く存在する。授業時間以外に学習していない生徒がまだ多いが、昨年度よりかなり改善されている。

2. 授業改善

授業時間以外にも積極的に勉強させるために、指導方法の工夫に努める。
授業に消極的な生徒に対し、個別に指導を行う。

数学



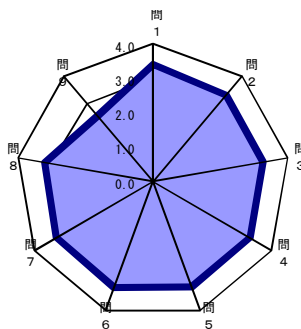
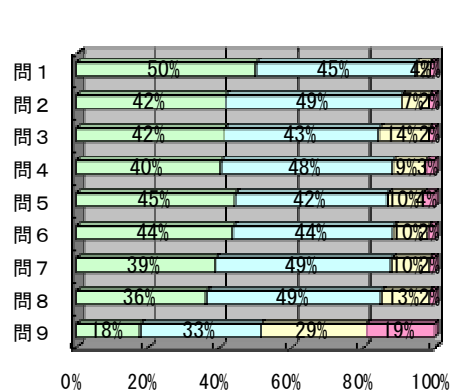
1. 「授業評価」結果の分析

- ・問1～問6の授業の方法と内容についての問いでは、約7割から8割の生徒が肯定的な評価をしている。
- ・しかし、各問とも約2割から3割の生徒が否定的であり、指導の工夫が必要である。
- ・問9の間では、生徒たちの46%が授業以外に家に帰ってもあまり学習に取り組んでいないという結果が出ている。

2. 授業改善

- ・自宅学習の状況を改善するために、プリントや小テスト等のさらなる工夫をする。
- ・授業時間以外にも積極的な学習を保障するために、指導方法の工夫に努める。
- ・授業に消極的な生徒への指導を重視する。

理科



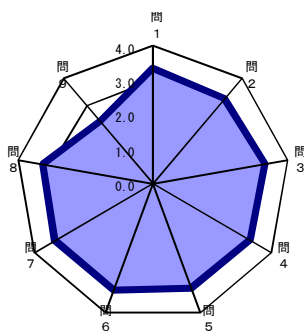
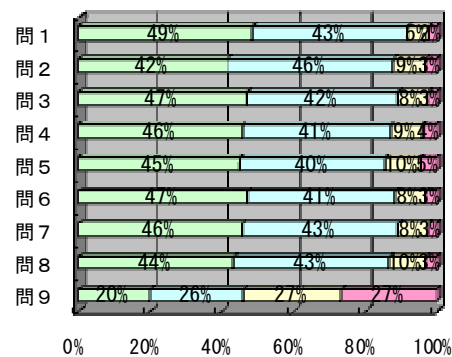
1. 「授業評価」結果の分析

- ・授業の内容や実施形態については、おおむね良い評価。
- ・学習時間に関するプラスの評価が51%ながら、昨年2回の調査時より増加している。

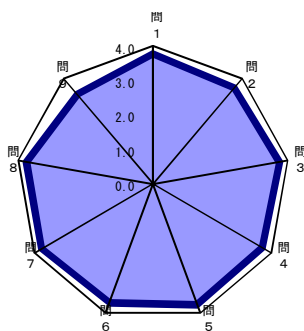
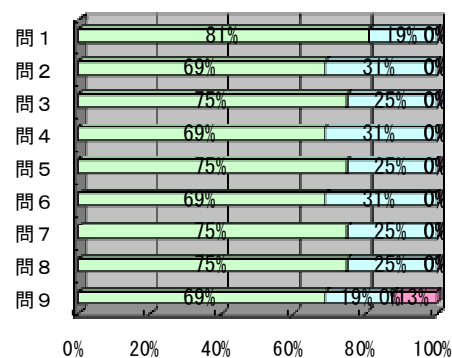
2. 授業改善

- ・自宅学習の状況を改善するために、プリントや小テスト等のさらなる工夫をする。
- ・授業展開については、実験や実習などの工夫やICTの活用を行う。

保健体育



体育(専)



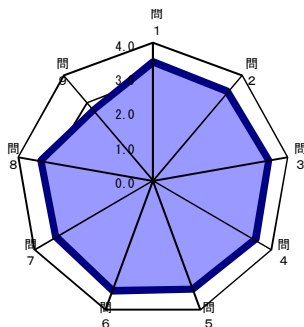
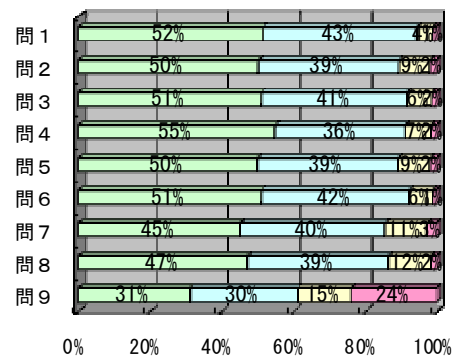
1. 「授業評価」結果の分析

- ・実技に関しては、一部の生徒を除いては、意欲的に取り組んでいるようだ。
- ・種目によって差があるようだ。

2. 授業改善

- ・持久走の授業において、地域住民の理解と協力が必要が不可欠である。そのためには何らかの方法で事前に連絡するよう努力する。

芸術



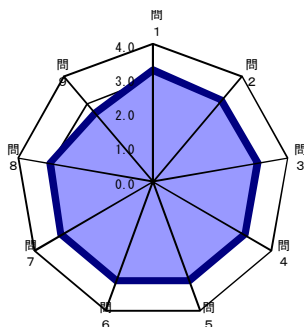
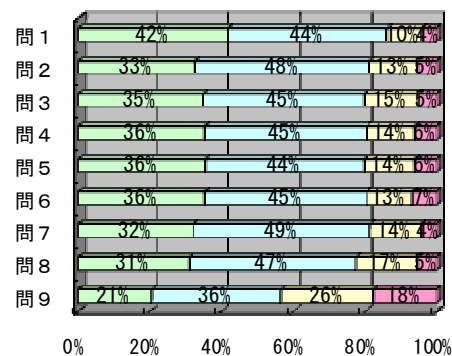
1. 「授業評価」結果の分析

- ・授業時間外の学習について、他の観点と比較し評価が低くなっている。

2. 授業改善

- ・実技教科であるため、授業での学習、練習、制作が中心となってしまう。教材、楽器等自宅では学習の実施が困難であるが自宅でのテレビ等での情報の中から、練習、制作への糸口を自主的に探し出す工夫を指導する。

英語



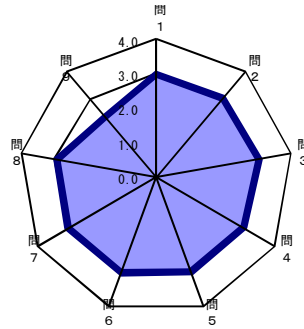
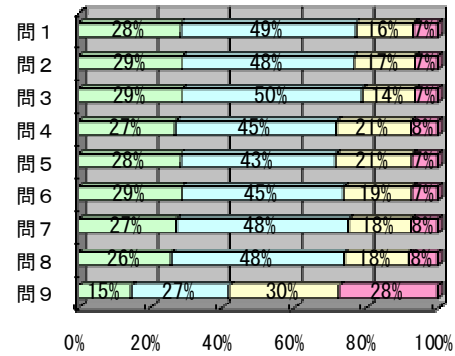
1. 「授業評価」結果の分析

- ・問1～問8の授業の仕方と内容及び受け方についての問いでは、約80%の生徒が肯定的な評価をしている。
- ・問9については、否定的な回答の生徒が他の問いの倍以上になり、授業の予習・復習の実践が充分ではないことがうかがえる。

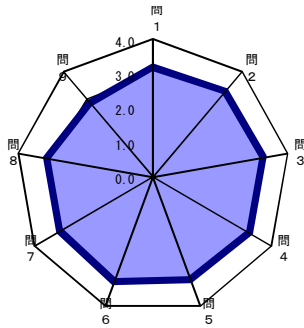
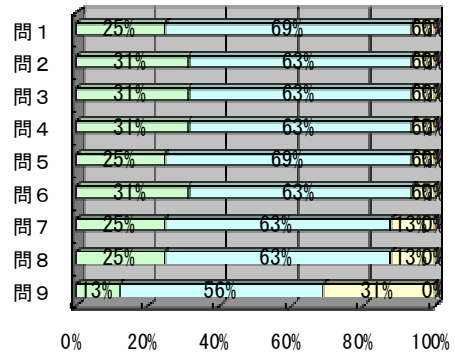
2. 授業改善

- ・授業について、知識を得、参加し、わかりやすいという点で約20%の生徒が否定的である。この要因は多様であり、短時日での改善は難しいが、少しずつ原因を明らかにして対応し、否定的な回答の割合を減少させたい。
- ・授業の進度においては、出来るだけ事前に見通しを生徒に説明し、教員と生徒間で共通理解を持って授業を進めたい。また、十分ではない予習・復習の実践を促すことで、生徒が授業の進度に適応できるようにしたい。

家庭



家庭(専)



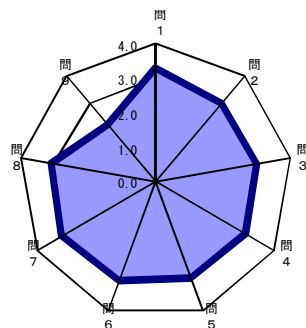
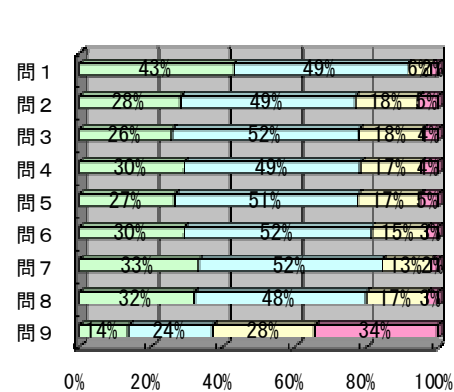
1. 「授業評価」結果の分析

- ・生徒は、家庭科の授業に対し、概ね満足していると思われる。
- ・42%の生徒が学校以外でこの授業の学習をしていると答えている。
部活やその他の教科の学習や習い事で忙しいと思われるが、家族との会話の時間を増やし、ぜひ学校で学んだことが実践できるよう促していきたい。

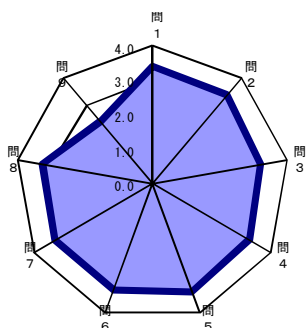
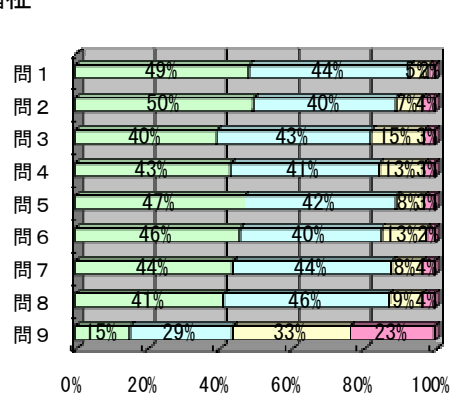
2. 授業改善

- ・「参加しやすい授業」「わかりやすい授業」を再度確認し、授業を作っていく必要がある。
- ・板書だけの授業でなく、実習・実験を多くしたり、生徒同士がディスカッションしたり、意見共有したり、生徒参加型の授業にしていこうと考えている。

情報



健康福祉



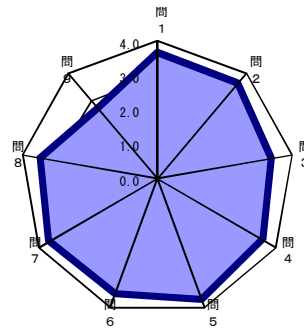
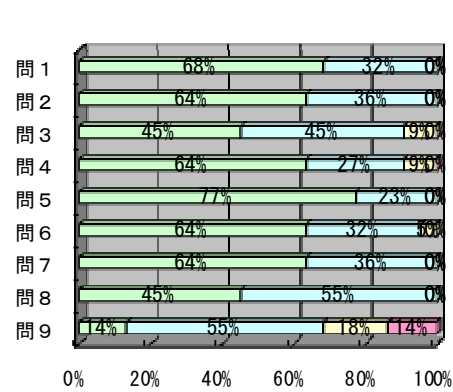
1. 「授業評価」結果の分析

- ・設問9については、家庭学習への意欲に欠ける。上手く家庭学習に結びつける課題等について考える必要がある。
- ・外部講師の方を含め、コース授業には多くの教員が授業を運営している。さらに校外への訪問授業も多い。その中において設問1の結果が良好だったことは、教員間、教員と外部との連携が十分に取れていると分析した。

2. 授業改善

- ・豊富な体験授業や訪問授業が多い科目であるため、家庭学習に結びつきにくい。しかし、体験や訪問を通じて感じたことを調べたり、分析することに興味を持たせるように生徒への呼びかけ等を行い、「体験から知識を得る」という授業スタイルを考える必要がある。

福祉(専)



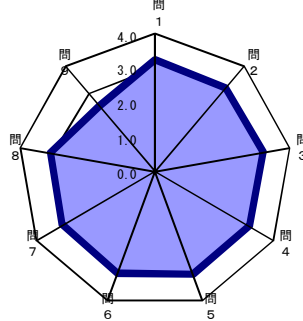
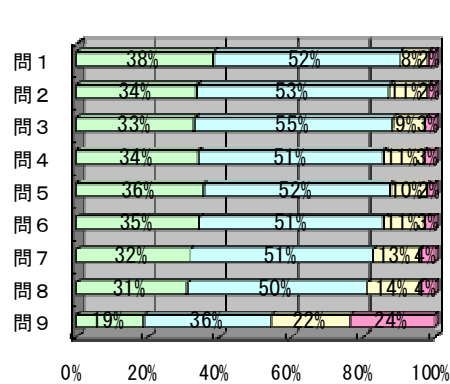
1. 「授業評価」結果の分析

- ・設問7、8の結果が良好であったことから、生徒自身は意欲的に授業に取り組んでいることがわかる。
- ・設問3については、授業内で配布するプリントの他に、授業内の気づきを書きこむ作業を毎回行っている。そのことを負担と捉えた生徒は「進み具合が速い」と感じていると分析する。
- ・設問9以外は良好な結果であることから、今後も生徒の興味や進度に応じた授業内容を展開し続ける必要があると分析する。

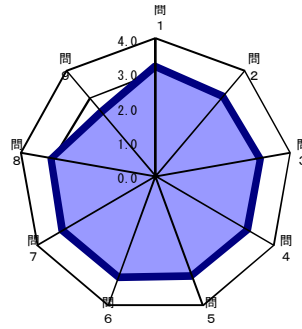
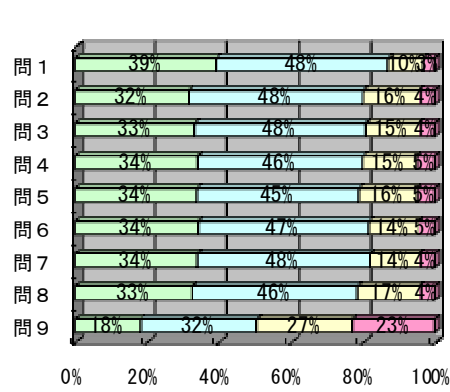
2. 授業改善

- ・授業内での生徒の様子をしっかりと観察し、進度のチェックを細やかにしながら授業を構成する。
- ・専門福祉科目履修生には、福祉関連職に関心を持つ生徒も多く居ることから、より一層生徒の興味・関心に応じた授業を展開する。

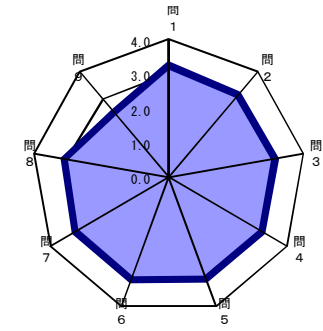
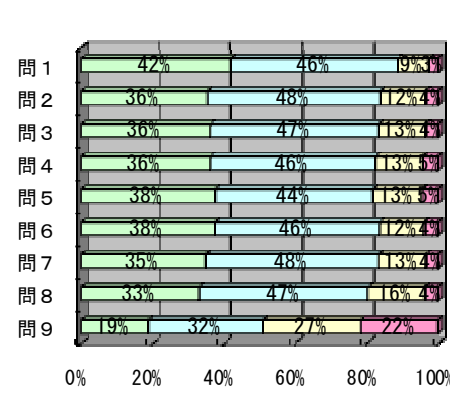
総合



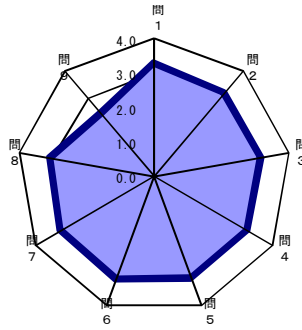
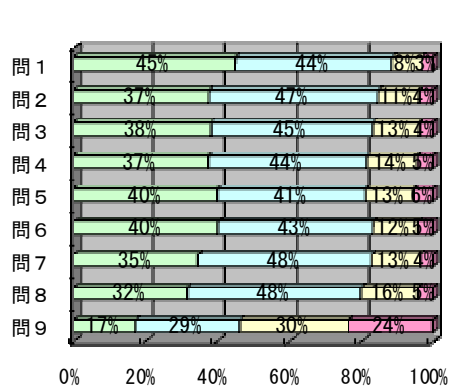
1年



全校



2年



3年

